

イベント朗催で **連日のにぎわい**

アストロ・ロマン大東

アストロ・ロマン大東では、大型連休に合わせ、 4月30日から5月7日にかけて各種イベントを催 しました。

4月30日には10チーム・30人が参加しオリエン

テーリング大会を開催。5月3日か ら7日には「ちびっこ魚釣りフェス タ」と、壁に付いた突起をつかみなが ら壁面を移動する「トラバーズボル ダリングに挑戦」が、5月5日には 「おやまの木工工作教室」や、牛乳パ ックなどのリユース素材を利用し押 し花を飾ったメッセージカードを作 るコーナーなどが行われ、会場は連 日家族連れなどでにぎわっていまし







上 10チームが競ったオリエンテー

バーズボルダリング)



待望の下水道施設が完成

大原浄化センター通水式

大原地区で進められていた特定環境保全公共下水 道事業の終末処理場「大原浄化センター」通水式が4 月18日、大原字下鳥神地内で行われました。式典には 市や県、事業関係者など約70人が出席。式辞と工事経 過報告、祝辞、テープカットの後、用地提供者と地元自 治会代表者によるスイッチオンセレモニー、大東高校 の生徒たちによる鹿踊演舞のアトラクションが行わ れ、待望の地区下水道処理施設の完成を祝いました。

平成13年度から始まった同事業は、事業区域の45% で管きょ整備が完了。一部区域で下水道の利用が始ま っており、快適な生活環境に向けた今後一層の整備推 進が期待されています。

丹精込め育てた『山の妖精』

エビネ・山野草展開催

岩手エビネ愛好会(芳賀光雄会長)、大原公民館など が主催するエビネ・山野草展は5月5日から7日まで、 大原の勤労者体育センターで催されました。

今年で17年目を迎えた同展には、会員らが丹精込め て育てたエビネ200点とシャクヤクやアツモリソウな どの山野草約240点が出品されました。訪れた来場者 は、会場いっぱいのテーブルに展示された可憐な「山 の妖精」を熱心に眺めたり、自分のカメラに収めたり し、思い思いに楽しんでいました。

そのほか、6日にはエビネ管理講習会が行われ、愛 好家らが熱心に聞き入っていました。



エビネやアツモリソウなど可憐な「山の妖精」に見入る来場者



牧澤神楽保存会による「天の岩戸開き」の一場面

勇壮な舞『南部神楽』の伝承

選抜神楽花泉大会に8団体

岩手県南・宮城県北選抜神楽花泉大会は4月29日、花泉 総合福祉センターで催されました。「南部神楽」を民俗無形 文化遺産として伝承し、技能の向上と後継者の育成を目的 に同大会実行委員会(小野寺泰雄委員長)が主催し、今年で 25回目を迎えます。

両県から8団体が得意の演目を披露し、日ごろの練習の 成果を競い合いました。会場いっぱいに景気良く響く太鼓 や鉦と迫力ある舞に、会場の愛好家は盛んな拍手を送り、 郷土芸能を堪能していました。審査の結果、「曽我兄弟陣屋 巡り」を演じた猿飛来神楽(栗原市)が優勝しました。

たよし! 左よし! たよし! 老松小学校交通安全教室

桜のつぼみが膨らみ始めた4月19日、春の交通 安全運動にちなんだ交通安全教室が老松小学校で 開かれました。交通指導隊員5人のほか、地域を担 当する警察官が指導にあたりました。

地域だより TCHINOSEKI

新1年生7人を含む低学年は、交通指導隊員と 一緒に校内に設けた模擬信号機で横断歩道の渡り 方を、高学年は手信号の合図で安全な自転車走行 を学びました。その後、実際の路上を歩き、車に気 をつけながら横断しました。



きらびやかに釉児行列

花泉保育園で花まつり

花泉保育園(宇津野弘人園長)で5月8日、お釈迦様 の生誕を祝う花まつりが行われました。

古式ゆかしい稚児衣装を身に着けた4・5歳児33人 と、冠とケープをまといお釈迦様の誕生を知らせたと いう白い象を引く3歳児33人が、清水の町を練り歩き ました。きらびやかな衣装の稚児行列に、沿道の市民 は「かわいいね」と笑顔で語り合っていました。

花まつりは毎年、お釈迦様の生誕日から1カ月遅れ の5月に行われ、花まつりのお祝いとともに子どもた ちの健やかな成長を祈願して行われています。

色とりどりの花を楽しむ

ベゴニアと春の花まつり

「ベゴニアと春の花まつり」が5月3日から7日ま で、花と泉の公園で催されました。ゴールデンウィー クの中日となる3日には市内外から多くの家族連れ が訪れ、306種5000本もの色とりどりのベゴニアの世 界を楽しみました。

期間中、花き栽培農家などが、花・農産物・工芸品な ど格安で提供する花市も開かれ、ベゴニアを買い求め たお客さんは肥料の施し方など、花の管理を熱心に尋 ねていました。



家族連れでにぎわうベゴニア館前の花市